

関西ベンチャーサポーターズ会議設置について

平成 30 年 7 月 17 日

近畿経済産業局

1. 関西のベンチャー支援に関する課題

- ・ 関西では近年、多くのベンチャー支援機関が様々な支援事業（ビジコン、ピッチ、アクセラレーションプログラム等）を各地で実施し、その成果として有望なベンチャー企業が多数輩出されつつある。
- ・ しかしながら、これらの情報がまとまった形で発信されていないことなどから、関西の充実しているベンチャー支援に関する現状、有望なベンチャー企業の情報が外部に十分認識されている状況にない。
- ・ また、関西のベンチャー支援機関相互における情報共有、人的ネットワークの構築をより一層推進し、オール関西での支援機関の連携、さらなる支援事業の充実が求められている。

2. 関西ベンチャーサポーターズ会議設置の目的

- ・ 上記の課題に対応するため、関西のベンチャー支援機関（学識者、アクセラレーター、起業家、ベンチャーキャピタル、金融機関、自治体ベンチャー担当者（別紙参照））により構成される「関西ベンチャーサポーターズ会議」を設置し、関西のベンチャー情報の発信、支援機関の連携、支援策の検討を行う。
- ・ 今年度、本会議では以下の3つの情報発信について検討、実施する。
 - ① 関西の支援機関のベンチャー施策
 - ② 関西の支援機関の支援策の最新情報が把握できるイベントカレンダー
 - ③ 関西のベンチャー企業情報
- ・ 来年度も引き続き、今後新たに実施すべき支援策、支援機関の連携等について検討する。

3. 今年度のスケジュール

- ・ 今年度 4 回程度開催。
- ・ 年内を目途に、関西のベンチャー企業情報（ベンチャー企業リスト、特色あるベンチャー企業の紹介等）や支援情報を取りまとめ、ポータルサイト等にて公表。

関西ベンチャーサポーターズ会議メンバー

(別紙)

	氏名	機関名	役職	キーワード
座長	忽那 憲治	神戸大学	大学院科学技術イノベーション研究科 副研究科長・教授	「NextInnovation」アドバイザリーボード座長。ベンチャーファイナンス、アントレプレナーシップ支援にも取組
メンバー ※五十音順	梅田 和哉	京都リサーチパーク株式会社	成長企業支援部長	KRPスタートアップ支援部門のリーダー。京都市スタートアップ支援ファンドへの出資等を主導
	権 基哲	デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社	事業統括本部 関西地区リーダー	大企業とつなぐ「Morning Meet Up」統括責任者。関西ベンチャー事情の第一人者。NextInnovationアドバイザー
	財前 英司	関西大学	梅田キャンパスオフィス スタートアップ支援事業マネージャー	関西大学が福岡市での実績があるTSUTAYAと仕掛ける「スタートアップカフェ大阪」のリーダー
	仙田 忍	株式会社ルカコ	代表取締役	LED関西第1回ファイナリスト。近畿各地に女性起業家ネットワークを構築。はばたく300社受賞
	高岸 実良	阪急阪神不動産株式会社	都市マネジメント事業部 部長	成長志向のスタートアップ支援オフィス「GVH#5」責任者。都市政策にも精通
	辰己 賢一	池田泉州キャピタル株式会社	常務取締役	関西地銀系VC。ベンチャーと事業会社等をつなぐ勉強会を毎月テーマを設けて開催。NextInnovationアドバイザー
	長川 勝勇	公益財団法人大阪市都市型産業振興センター	大阪イノベーションハブ 統括プロデューサー	グローバルイノベーション創出拠点のリーダー。関西のイノベーションエコシステム構築に向けても活動
	中野 智哉	株式会社i-plug	代表取締役社長	西中島を関西を代表するベンチャー集積地にと目指す「にしなカバレー」代表。NextInnovationアドバイザー
	松本 直人	フューチャーベンチャーキャピタル株式会社	代表取締役社長	京都拠点の独立系上場VCの代表。IPOだけにこだわらず地銀・自治体と連携した投資活動を実施
	村岡 慶一	株式会社りそな銀行	コーポレートビジネス部 ビジネスプラザおおさか 所長	「ビジネスプラザおおさか」を設置し、創業相談やベンチャー支援に積極的に取り組む
	吉川 正晃	Human Hub Japan	代表	関西経済同友会が取り組む、大企業とベンチャーの出会いの場「関西ブリッジフォーラム」を主宰。元大阪市理事

オブザーバ：福井県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、神戸市、関西広域連合、大阪ベンチャーエコシステム推進連絡会議(仮称)(大阪府、大阪市、堺市、他)

事務局：近畿経済産業局

《全国の動き》

- 平成28年、日本経済再生本部が「ベンチャー・チャレンジ2020」を策定。
- 経済産業省では、統一ブランドのもと、成長ベンチャーを選び、ベンチャーと大企業・サポーターをつなぎ、グローバル展開を支援する「J-Startup」プログラムを平成30年6月に始動。

《関西の動き》

- ベンチャーピッチ、起業家育成プログラム、インキュベーター、ファブラボ等
Ex.大阪府・市(Booming、大阪起業家スタートアップ、OIH、OSAP)、京都市(目利き委員会)、堺市(第二創業促進支援事業)、神戸市(500KOBE、グローバルスタートアップゲートウェイ)、中小機構、NEDO、大阪商工会議所、NBK、阪急電鉄、デロイトトーマツベンチャーサポート 等
- オール大阪(大阪府、大阪市、堺市、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、近畿経済産業局)でのグローバルに展開するベンチャーエコシステム構築の取組み

《近畿経済産業局の活動》

- 「ベンチャー型事業承継促進プロジェクト」や「女性起業家応援プロジェクト（LED関西）」などを実施。
- バイオ、IoT、スマートエネルギー、サービスなどの分野でクラスター構築を通じ、イノベティブな企業、プロジェクトを支援。

関西のベンチャー支援の方向性

➤ 支援機関の連携

関西各地の自治体、産業支援機関、ベンチャーキャピタル、金融機関、民間企業、大学等の活動が、関西広域、さらには全国に展開するための緩やかなプラットフォームを構築。

➤ 情報発信力の強化

①関西の有望なベンチャー企業②充実しつつあるベンチャー創出支援事業③アクセラレーター等のキーパーソンに関する情報を外部へ積極的に発信。

関西で広がるベンチャー企業の成長をサポートする取組① ～第4回関西企業フロントライン(平成30年1月公表)から抜粋～

- 大阪府・大阪市では、ベンチャー企業の成長ステージにより支援対象企業を差別化することにより、シード期の企業からIPOを目指す段階の企業まで、一体的な支援を実施。特に、大阪市では成長初期企業の事業化加速のために、事業連携や資金調達に向けた事業ブラッシュアップなどのアクセラレーションプログラムを提供している。

大阪府・市の取組

【Booming! 大阪府ベンチャー企業成長プロジェクト】

- 大阪府では、株式の新規上場などをめざす成長志向のベンチャー企業に対して積極的に支援し、その成長を後押しするとともに、成功した起業家が後輩の起業家を支援する環境が大阪に定着するきっかけづくりを目的とした「成長志向創業者支援事業（Booming!）」を実施。
- 2020年までに、「Booming!参加企業から3社の上場企業を生み出す」「Booming!参加企業の売上を10倍にする」「大阪にベンチャーエコシステムを形成する」という目標を掲げ、同府が関西の若手企業家組織「一般社団法人EO-OSAKA」とともに、2015年にスタート。
- 公募により集まった世界や全国の市場を見据えた成長志向の強いベンチャー企業たちを、成功した先輩起業家のプロデュースによる個別支援を行うプログラムを提供。対象となるベンチャーは①上場等を目指し、②ビジネスプランに基づく売上実績が存在し、③支援により概ね3年以内に上場準備に入ることが可能という3点のクリアが必要。



(出所)「Booming!」公式ホームページより抜粋

大阪府・市の取組

【OSAP -OIH Seed Acceleration Program-】

- 大阪市では、シード期～スタートアップ期のベンチャー事業者に対し、適切なメンタリングをはじめ、シードアクセラレーターや大企業等との連携をコーディネートすることで、企業の事業化を加速させる取り組みである「OSAP（オーサップ）」を実施。
- 大阪市が、ベンチャー支援に取り組む「デロイトトーマツベンチャーサポート(株)」とともに平成28年度にスタート。対象は、創業前～創業5年以内で、自社サービスリリース前後のシード・アーリー期のベンチャー企業に対して、事業・K P I のディスカッションや進捗の共有、連携先大企業・シードアクセラレーター等とのコーディネート支援を行っている。
- 大企業・メディア・VCなどの約100人で構成されたメンター陣によるアドバイスに加え、大企業のニーズを捉えた事業提携、更にはベンチャーキャピタルからの資金調達に向けた事業計画・ビジネスモデルのブラッシュアップなど、加速的な成長のための実践的なプログラムを用意。



(出所)「大阪イノベーションハブ」公式ホームページより抜粋

関西で広がるベンチャー企業の成長をサポートする取組② ～第4回関西企業フロントライン(平成30年1月公表)から抜粋～

- 神戸市は、シリコンバレーに拠点を置く「500 Startups」とパートナー関係を結び、神戸から日本発のビジネスエコシステムを創出べく、グローバルチームによるアクセラレーションプログラム（対象：日本国内外のスタートアップ）を実施している。
- 京都市は継続的なベンチャー企業発掘に加え、関係機関と連携し、資金供給・ハンズオン支援の両面に取り組んでいる。

神戸市の取組 [500 KOBE Accelerator]

- 神戸市では、米国のシード投資ファンド「500 Startups」(ファイブハンドレッド スタートアップス)と連携して、社会にイノベーションを起こし得るスタートアップ(成長型起業家)の集積・育成を支援する取組みを2016年より進めている。
- シリコンバレーを拠点に世界60カ国2000社以上を支援する、世界で最もアクティブなシード投資ファンドとして知られる「500 Startups」がもつ、本格的なアクセラレーションプログラムを神戸市を舞台に行っている。(※ 500 Startupsによる米国以外での本格的な起業家育成プログラムは世界初。)
- 国内外すべてのスタートアップを対象に、グローバルチームによるマンツーマン指導を含めた5週間(現地プログラム)にわたる実践的なプログラムを通じて、日本発のビジネスエコシステムを神戸から生み出すことを目指している。

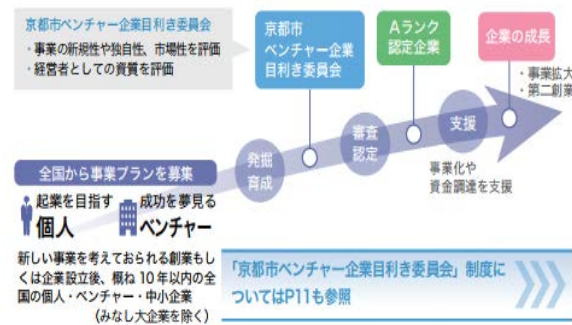


(出所)「500 KOBE Accelerator」公式ホームページより抜粋

京都市の取組

[京都市スタートアップ支援ファンド/京都市ベンチャー企業目利き委員会]

- 京都市は、京都信用金庫、京都中央信用金庫、株式会社日本政策金融公庫京都支店国民生活事業、京都リサーチパーク株式会社、京都に本社を置く独立系VCであるフューチャーベンチャーキャピタル株式会社と協定を締結し、それぞれの機関が有する資源を有効に活用することで、京都市域における創業支援に取り組み、オール京都で、京都経済の活性化、雇用創出に寄与することを目的として2016年4月にスタートアップ支援ファンドを設立。
- 京都市は、1998年から「京都市ベンチャー企業目利き委員会」を通じて、次代の京都経済をリードするベンチャー企業を発掘、育成するため、「Aランク認定企業」を選定し、認定企業に対して、インキュベーションや専任をコーディネーターによるサポートを提供。
- 各機関のリソースを十二分に活用し、成長資金の投下とハンズオン支援の側面から、オール京都でベンチャー支援に取り組んでいる。



(出所)「京都市」公式ホームページ、並びに参画機関各種プレス等より抜粋